

小さな拠点形成促進事業進捗について

令和8年8月
地域整備本部会議
(総合政策課取扱)

1. 熊ヶ畑地域

これまでの経過

令和2年度

熊ヶ畑地域小さな拠点形成委員会を設立し、地域将来計画を策定。

令和3年度

地域拠点基本計画を策定

令和4～5年度

拠点施設整備等審議会答申

令和6年度

市において拠点施設整備方針(山田活性化センターを改修し拠点施設として活用。白雲荘の代替施設の整備については、市の財政状況や市全体の公共施設適正化の進捗状況などを踏まえ、当面、見送り。)を定め、熊ヶ畑地域小さな拠点づくり形成委員会に提示。

令和7年度

令和8年2月 「特定非営利活動法人くまがはたちんどん」認証。令和8年度の農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業及び集落ネットワーク圏形成支援事業を申請。



現状・今後の課題・見込み

令和7年度に申請していた農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業及び集落ネットワーク圏形成支援事業について採択されたため、それぞれの事業計画に基づき、持続可能な地域にしていくための具体的な取り組みを開始する。

活動拠点となる山田活性化センターは老朽化しており、改修内容については財源的な課題もあるが、検討する必要がある。

引き続き、委員会に出席し地域の取り組みを支援する。

- 「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)において、生活支援や「なりわい」の創出等の地域課題の解決に資する取組を幅広く支援(特に専門人材やICT等技術を活用する場合には上乗せ支援)。

施策の概要

- (1) 対象地域 過疎地域をはじめとした条件不利地域
 - (2) 事業主体 集落ネットワーク圏を支える中心的な組織(地域運営組織等)
 - (3) 対象事業 集落機能の維持・活性化プランに基づく取組
 - (4) 交付対象経費の限度額 1,500万円(定額補助)
- 下記事業については、限度額を上乗せ
 - ① 専門人材を活用する事業 2,000万円(+500万円)
 - ② ICT等技術を活用する事業 2,500万円(+1,000万円)
 - ③ 上記①と②を併用する事業 3,000万円(+1,500万円)

【参考】

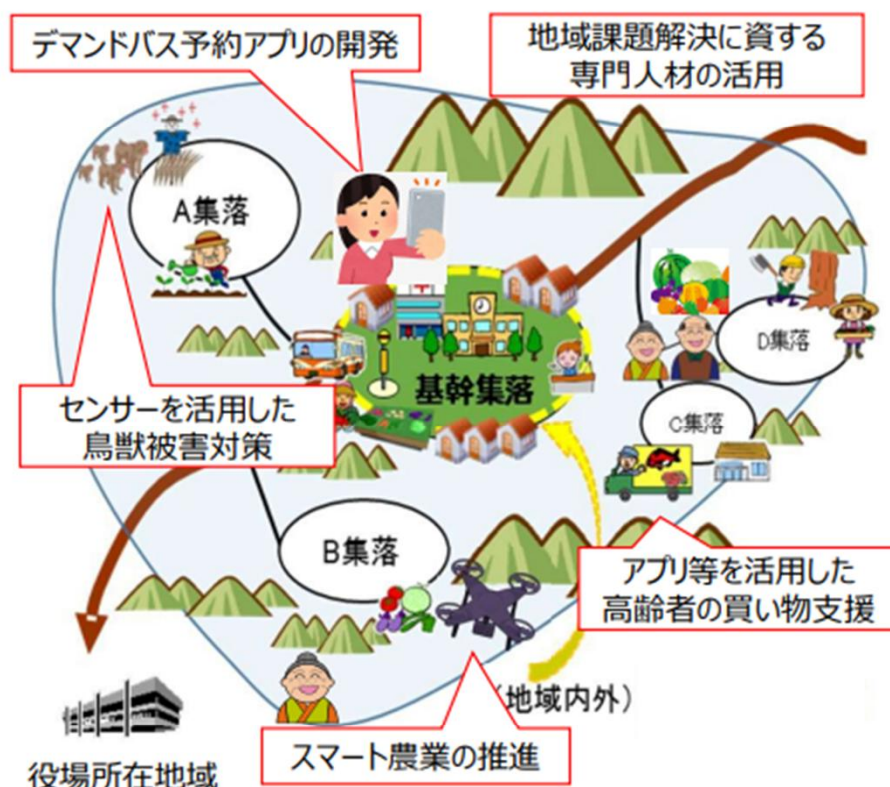
① 専門人材活用のイメージ

特産品開発、観光振興、地域交通、地域人材育成、移住定住促進、ICT技術等に関する専門的知識を有するアドバイザー・事業者等

② ICT等技術活用のイメージ

ドローンを活用した買物支援、センサーを用いた鳥獣被害対策、対話型アプリを活用した高齢者の見守り、オンラインによる学習環境整備等

集落ネットワーク圏における取組のイメージ



※範囲は、新旧小学校区、旧町村等を想定

熊ヶ畑地域における各事業の取組み(令和8年度)

農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業(農林水産省)

●交付決定額 4,900千円 ●交付期間3年(上限)

●取組内容

- ・事業の3本の柱である「農用地保全」「地域資源活用」「生活支援」に関する**将来ビジョンの策定**
- ・農用地保全・地域資源活用・生活支援に先進的に取り組む地域への視察
- ・放置竹林から伐採した竹を竹チップに加工し、肥料として活用する事業を試行
- ・地域資源を活かし、熊ヶ畑での暮らしをPRするモニターツアーを実施
- ・集落の結びつきの再構築や伝統文化の継承を目指し、地域内新聞の発行、熊ヶ畑の生活展を実施

集落ネットワーク圏形成支援事業(総務省)

●交付決定額 12,848千円 ●交付期間1年

●事業名 「山田活性化センター」の活性化

●取組内容

- ・品揃えを強化し、地域の日常的な買い物の場所としていくために、山田活性化センターの**空き部屋を活用して実証店舗の運営**。ネット販売の仕組みを導入
- ・生産者の確保や関係人口の創出を目的とした、熊ヶ畑の魅力を知ってもらうための交流イベントを実施
- ・地域での生活持続性の向上を目的とした、見守りを兼ねた御用聞きを実施

2. 足白地域

これまでの経過

令和3年度

足白地域小さな拠点形成委員会を設立し、地域将来計画を策定。

令和5年度

地域拠点基本計画を策定

(築60年を超える老朽化が著しい嘉穂地区公民館足白分館の代替施設の確保を想定)

令和6年度

足白地域運営組織発会役員会を設立し、足白地域運営組織計画書を策定。

令和7年度

令和7年10月に全住民を対象に足白地域運営組織計画書について、説明会を実施。市長に対して拠点施設整備の要望書を提出。



現状・見込み・今後の課題

令和7年度に策定した足白地域運営組織計画書に基づき、持続可能な地域づくりのための取り組みを進めていく。

活動拠点となる嘉穂地区公民館足白分館は老朽化が著しく、整備内容については財源的な課題もあるが、検討する必要がある。

引き続き、委員会に出席し地域の取り組みを支援する。

3. 宮野地域

これまでの経過

令和6年度

宮野地域小さな拠点形成委員会を設立。地域住民を対象とした講演会を実施。

令和7年度

中学生以上を対象とした全住民アンケートを実施。

回収率 91.54%

9月にアンケート集計結果を分析した結果報告会を開催。

2月に日田市へ視察。



現状・見込み・今後の課題

令和8年度は令和7年度に実施したアンケート結果をもとに、今後の取り組みに関する地域将来計画を策定する(令和9年3月策定予定)。

現在、農地、福祉、防災、にぎわいなどテーマごとに部会を設け、各課題に対する取り組み方針を検討中。

令和8年度は福岡県の「農村RMO形成に向けた伴走支援事業」の支援対象に選定された。本年度予定している地域将来計画の策定に向けて、ワークショップ実施などの支援を受ける予定。

宮野地域小さな拠点づくり形成委員会

令和6年度 全住民アンケート

●本アンケートは、宮野地域に暮らしている中学生以上の全住民を対象に実施するものです。一人ひとりの考えを伺うことで、世代別・男女別の考えやニーズを把握し整理することで、これからの取り組みに反映していきます。

●回答は謝辞名でお願いたします。結果は、個人が特定されないよう集計・分析します。

●アンケート用紙は、お一人ずつ提出していただきますので、家族で意見が違っても構いません。出していることをそのまま回答してください。

●アンケートを集計、分析したあとに報告会を行う予定にしています。ご参加ください。

質問1. あなたの性別・年齢及び行政区について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

性別	1. 男性	2. 女性
年齢	1. 中学生～19歳 4. 40～49歳 7. 70～79歳	2. 20～29歳 5. 50～59歳 8. 80歳以上
行政区	1. 島野	2. 小野谷 3. 宮吉 4. 上

質問2. 家族構成について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 一人暮らし	2. 二世帯同居(親と子)	3. 三世帯同居(親と子と孫)
4. 夫婦のみ	5. その他	

質問3. あなたの仕事について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 農業	2. 林業	3. 自営業
4. 会社員	5. 公務員・団体職員	6. パート・アルバイト
7. 専業主婦(夫)	8. 中学生	9. 高校生・高専生
10. 大学生・短大生・専門学校生	11. 無職	12. その他()

質問3-1. 仕事をされている方は、休日を選んで○をつけてください。

1. 土曜(毎週)と日曜	2. 土曜(隔週)と日曜	3. 日曜のみ
4. 平日	5. 不定期	6. その他